地域観光

日商
「きらり輝き観光振興大賞」
結城商工会議所が受賞

日本商工会議所はこのほど、2023年度「全国商工会議所きらり輝き観光振興大賞」の大賞に、結城商工会議所（茨城県結城市）の「まちなか音楽祭『結いのおと』」を選んだ。表彰式は2月22日、水戸市で開催予定の「全国商工会議所観光振興大会2024in水戸」の全体会議で行う。同大賞は08年度に創設、今回で14回目となる。

表彰式は2月22日、水戸大会で

結城商工会議所は、まちづくり機関であるTMO結城会社と連携して「結いプロジェクト」の活動に取り組んでおり、14年から回遊型の音楽祭「結いのおと」を開催している。

寺社仏閣や酒蔵、結城紬の産地問屋などをユニークベニューとしてライブステージに活用。出演者には結城紬を着てもらい、参加者に着物のレンタルを行うなど独自の試みがSNSでも大きな反響があったという。

当初の動員数は200人程度だったが、開催を重ねるたびに話題となり、23年度は2日間で1万人を超えるなど一大イベントに成長。経済効果は6千万円ほどで、新たな雇用も生み出していることなどが高く評価された。

優秀賞は、小松商工会議所（石川県小松市）の「オープンファクトリー『GENBA』モノヅクリエキスポ」が受賞。

モノヅクリエキスポでは、工場や工房の見学を観光商品化し、販売するとともに、体験プログラムを「イベント型」から「通年販売」への移行を目指して「商品・販路開拓チーム」を結成。専門家の支援のもと、商品開発や販路開拓を推進するスキームを設計した。

また、異業種との交流の場となる「GENBAサロン」も開催。ベテラン経営者や若手クリエーター、大学生らが参加し、連携してマーケティング課題の解決に取り組んでいるという。

きらり特別賞は、室蘭商工会議所（北海道室蘭市）の「24時間滞在型『撮りフェスin室蘭』（地域資源活用）、今治商工会議所（愛媛県今治市）の「今治クリテリウム～今治を世界中のサイクリストの聖地に」（スポーツツーリズム）、八女商工会議所（福岡県八女市）の「八女福島観光プロジェクト～古民家ホテルを核とした地域活性化と観光の展開」（地域資源再興）―が選ばれた。

八女市内には宿泊施設が少ないため、八女商工会議所は20年4月に古民家を改装し、「八女茶の産地ティーホテル」をコンセプトにした「NIPPONIAHOTEL八女福島商家」を開業。その後、周辺商店街の売り上げが増加し、新規出店も相次いだ。後発の古民家ホテル2棟も開業するなど、地域経済の拡大に貢献している。

また、電気自動車周遊コースの設置や八女茶カフェの常設、八女ソムリエスクール事業を立ち上げ、人材育成や観光客受け入れ態勢の強化にも取り組んでいる。

奨励賞は7商工会議所が受賞した。【内井高弘】

2施設がオープン
草津温泉スキー場
通年型リゾート実現に一歩

草津温泉スキー場（群馬県草津町）に新しいゴンドラと山頂部の展望レストランが完成した。12月13日には黒岩信忠町長らが出席して竣工式が行われた。ゴンドラがスキー場オープンに合わせ16日から、レストランは23日からそれぞれ営業を開始した。

同町はスキー場について、年間を通して集客が見込める「通年型山岳リゾート」にすることを目指している。2施設の稼働で、同リゾート実現に大きな一歩を踏み出した。次はメインレストラン「天狗山レストハウス」の建て替えで、25年中の完成を目指している。

パルスゴンドラ天狗（上）とクリスタル天

「パルスゴンドラ天狗」の建設費は約8億円。1台8人乗りで3台が連結、計12台が稼働。全長473㍍を2分ほどで結ぶ。料金は大人で片道800円（往復1500円）、子供600円（同千円）。

山頂部には「天狗山展望ハウス」があったが、1985年建設で老朽化が進み、店舗面積も狭く、トイレも男女兼用1カ所のみで不便さは否めなかった。約2億円をかけて建てた展望レストランの名称は「クリスタル天（そら）」。2階建てで、座席数は40席。トイレは男女別にした。ガラス張りのため、温泉街やスキー場を眺めながら食事が楽しめる。

インバウンドを意識し、すし職人が握る本格的なすしやアルコール類を提供する。営業時間は午前9時半～午後4時（ナイター営業日は午後8時半まで）。

同スキー場は18年の本白根山の噴火で面積は大きく減少。スキーに頼らないスキー場運営にかじを切り、ジップラインや日本一高いブランコ「スカイスウィング」などを整備した。今回の施設もその一環。

蒲郡の「つま菊」を使用
クラフトビール完成
信金組織

全国の信用金庫で組織する「よい仕事おこしネットワーク」（事務局＝城南信用金庫）は12月14日、愛知県蒲郡市の特産品「つま菊」を使い醸造したクラフトビール「つま菊ラガー星畑」の完成披露式を東京・羽田の同ネットワークの拠点「よい仕事おこしプラザ」で行った。

つま菊は刺し身などの脇に添えられる小さな菊。蒲郡市は生産量日本一の愛知県の中で主要産地となっている。

同市の鈴木寿明市長は「完成したビールは黄金色に光り、菊の香りがして喉越しも爽快でおいしい。来年の市制70周年のお祝いで飲みたい」。

城南信用金庫の川本恭治理事長は「今後もよい仕事おこしネットワークの地域活性化プロジェクトで、全国各地の名産品とコラボした新商品を開発し、日本中の魅力をここ羽田の地から発信したい」と述べた。

鈴木市長（中央）、川本理事長（右端）らによる完成披露式

商品は1本330ミリリットルで、税込み880円。販売1本につき100円を醸造会社が蒲郡市などに寄付する。

同ネットワークはコロナ禍で苦境にあった全国の自治体、中小企業を応援する一環で、全国各地の名産品とコラボしたクラフトビールやスイーツを開発している。今回の蒲郡市との取り組みはクラフトビールとしては20作目。

夜景とワインを楽しむイベント
札幌で初開催

札幌市内の観光施設やホテルなどで夜景や景観を楽しみながら北海道産のスパークリングワインを堪能してもらうイベント「Sapporo SPARKLING WINE DAYS 2023」が1月8日まで、開催されている。

地元のイベント企画会社「インターリンクジャパン」が札幌の新しい観光コンテンツに、と初めて企画した。

大倉山ジャンプ競技場やさっぽろテレビ塔、JRタワーのレストラン、京王プラザホテルなど11カ所が参加。札幌や小樽、余市、富良野など道内各地のスパークリングワインをそろえ、それぞれオリジナルプランで提供している。

特に38年前に日本で初めて瓶内二次発酵製法によるスパークリングワインが誕生した日である12月20日には、記念企画としてJRタワーでの音楽演奏や参加施設4カ所を周遊する無料バスの運行も行った。

北海道では、近年、ワインづくりへの取り組みが急速に広がり、ワイナリー数も10年前の3倍強の63件にと増加している。

インターリンクジャパンの阿部さおり代表は、「北海道の気候風土がワインづくりに適しており、各地で高品質なスパークリングワインが続々と誕生している。ぜひ、日本新三大夜景の美しい景観とあわせて堪能し、札幌ならではの特別な時間を過ごしてもらいたい」と呼び掛けている。

層雲峡でCF始まる
1月7日まで募集　目標額60万円

層雲峡地区（北海道上川町）の宿泊施設や商店街の若手、町職員で成る「層雲峡未来観光戦略プロジェクト」（西野目智弘座長）は12月13日、大雪山の自然を保護し、未来につなげるため、クラウドファンディング（CF）を始めた。募集期間は1月7日までと短いが、目標の60万円達成に支援を呼び掛けている。

全日本空輸（ANA）のCF「WonderFLY（ワンダーフライ）」を通じて寄付を募っている。

23年は層雲峡温泉の開湯100年に当たり、同プロジェクトも結成10年の年だった。「23年を節目に新たなチャレンジをしたい」としてFCを行うことにした。

集まった寄付金は、①層雲峡の紅葉の名所「紅葉谷」へのアクセス向上のため、多言語看板を整備②紅葉谷に自生する天然記念物「ヒカリゴケ」の保存③次世代の子供たちがこの大自然に興味を持ってもらうための大雪山国立公園ジュニアレンジャー育成冊子の作成―に使う。

寄付額に応じて、ホテル大雪の宿泊券や大雪森のガーデンペア入園チケット、黒岳ロープウェイリフト乗車券ペアチケットなどが受け取れる。問い合わせは層雲峡観光協会、☎01658（2）1811。

ワンダーフライはANA Xが運営する購入型CFで、支援者はクレジットカードのほか、ANAマイルも使える。

新・南都八景は映えるスポット
奈良市

奈良市観光協会は、ユネスコ世界遺産「古都奈良の文化財」登録25周年を記念し、「新・南都八景」制定に向けオンライン投票を呼び掛けていたが、このほど投票結果を発表した。

新・南都八景は八つの構成資産（東大寺、興福寺、春日大社、春日山原始林、元興寺、薬師寺、唐招提寺、平城宮跡）の、最も写真映えする撮影スポットとなる。新八景は次の通り。

東大寺＝二月堂の眺め▽興福寺＝若草山からの興福寺遠望▽春日大社＝春日鳥居の前でたたずむ鹿▽春日山原始林＝滝坂の道▽元興寺＝日本最古の屋根瓦▽薬師寺＝南大門付近からの白鳳伽藍全景▽唐招提寺＝金堂▽平城宮跡＝平城宮跡の空。

例えば、唐招提寺の金堂については「南大門からの参道の中ほどから全景がファインダーに収まる。撮影の際は空を大きめに撮るのがおすすめ」とアドバイスしている。

ちなみに、南都八景は①東大寺の鐘②春日野の鹿③南円堂の藤④猿沢池の月⑤佐保川の蛍⑥雪井坂の雨⑦轟橋（とどろきばし）の旅人⑧三笠山の雪―だった。

地域創生と観光ビジネス
第43回

今年の推しは秘湯！　尾瀬かたなし水芭蕉乃湯「梅田屋旅館」

群馬・片品村で「尾瀬かたなし未来構想委員会」が開催された。村の未来を地域一体で創り上げようと、梅澤志洋村長自らが本部長を務める。委員には高校生をはじめ地域住民や事業者らが名を連ね、村の未来像を議論する。

未熟な座長の私をいつも助けてくれるのが、観光分野を得意とするコンサルタントの宮口直人氏である。宮口氏の声かけで、コピーライターで作家の川上徹也さんを講師にお招きし、短文で魅力を伝える極意やストーリーブランディングを学んだ。物語性を持たせることは、ヒット商品を生む第一歩でもある。

その後の懇親会は、村役場近くの尾瀬かまた宿温泉・水芭蕉乃湯「梅田屋旅館」で開催された。尾瀬の玄関口である片品村の一軒宿で、「日本秘湯を守る会」の会員宿でも知られる。昭和のハイキングやバブル期のスキーブームで、県内外に多くのファンを獲得した湯宿である。

遠く山々は雪化粧している。マイカーは冬タイヤに履き替えたので安心だ。懇親会のあとは、そのまま泊まって、ゆっくり温泉三昧することにした。美人蕉（びじんばしょう）の湯は半円形で木の香りが漂う。野趣あふれる露天風呂にも癒やされた。

1975年発足の日本秘湯を守る会は、今はなき「朝日旅行」の前身「朝日旅行会」の創業者・岩木一三氏が「秘湯」という造語を生んだことに始まる。同社の会員誌「旅なかま」に、かつて連載をしていた縁もあり、同会を応援したいと筆者は考えている。

これまでも檜枝岐（ひのえまた）温泉の「旅館ひのえまた」や群馬の「法師温泉長寿館」などを訪ね歩いた。どれも後世に遺すべき、貴重な湯宿ばかり。スタンプをもらうには、同会ホームページからの予約に限る。一般OTAとは料金も異なるので二の足を踏んでいたが、秘湯の推し活のために今年はスタンプ帳に挑戦するのが目標だ。

翌朝、梅田屋旅館の女将・星野由紀枝さんと、しばし会話してから宿をあとにした。落語家の立川談志さん（故人）や各界の著名人らが頻繁に利用してきた。夫に早くに先立たれてからは、女手一つで守り抜いてきた。跡継ぎがいらっしゃって、さぞ心強いことだろう。

筆者が同会に関心を得たのは、福島・微湯（ぬるゆ）温泉「旅館二階堂」を訪ねてからだ。NPO法人交流・暮らしネットの顧問である二階堂晋一さんのご実家で、活動仲間でひとつ風呂浴びに立ち寄ったのがきっかけだ。

長兄の故・二階堂匡一朗氏がつづった「吾妻山回想譜　先人に捧ぐる鎮魂歌」を読めば、郷土への熱い思いが伝わる。

とはいえ、山深い秘湯宿の経営は通年営業では採算がとりづらい。建物も老朽化しているため、営業継続が厳しいとうかがった。

近代的な宿もよいが、ひなびた雰囲気の秘湯宿を地域が守る取り組みが、今、求められている。後継ぎがいないのであれば公的機関などが買い取って存続させるといった議論を始めるときにある。

さて、先述した梅澤村長は、委員会の冒頭に「とにかく観光で来てほしい」と語った。オーバーツーリズム対策で躍する自治体がある一方、さらなる来訪を期待する地域もある。SNSや口コミ効果で、あれよという間に急増する可能性もある。どのような戦略をとるか、今が知恵の絞りどきだ。

（淑徳大学　経営学部　観光経営学科　学部長・教授　千葉千枝＝隔週掲載）

淡路島 洲本温泉
淡路インターナショナルホテル ザ・サンプラザ
令和5年夏展望大浴場とフィンランドサウナ新装！！
〒656-0023　兵庫県洲本市小路谷1279-13
TEL：0799-23-1212　FAX：0799-22-5823
https://www.the-sunplaza.co.jp/　E-Mail：info@the-sunplaza.co.jp

創業天保元年　伊勢志摩国立公園／鳥羽温泉郷
しんの千年 戸田家
〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽1丁目24-26
TEL.0599-25-2500　FAX.0599-26-2552
https://www.todaya.co.jp/

愛媛松山道後温泉　ホテル古湧園 遥
気候変動アクション環境大臣表彰
先進導入　積極実践部門　緩和分野
気候変動アクション大賞 受賞
2022年12月

施設概要
地上8階建　客室69室＋別邸「刻乃音」1棟
展望大浴場「遙の湯」・家族風呂・レストラン「甘美堂」
バンケットホール「石鎚・鹿島」
太陽熱集熱器（108台）空冷式ヒートポンプチラー（2台）エコキュート・ビル用マルチエアコン・ナイトパージシステム・全熱交換機・太陽光発電装置等　＊ZEB　READYランク
〒790-0836　愛媛県松山市道後鷺谷町1の1
TEL:089-945-5911　FAX:089-932-3011
https://www.kowakuen.com

DOGO KOWAKUEN HARUKA
BELS認証五つ星獲得
ZEB LEADING OWNER
ZEB30L-00004-P